（第3種郵便物認可）

議論重視 自分見つめる

新学習指導要領 道徳 ㊤

難題への対応力育成

小学校での道徳は、他の教科に先行して2015年3月に学習指導要領が改定された。教科外の活動だったのが、18年度以降は検定教科書を使って学ぶ「特別の教科」になった。考え、議論する活動を重視し、子供の成長の評価もする。新しい道徳は何を教え、どんな教科書が使われているのか。

2月末、栃木県那須塩原市立埼玉小学校5年2組の道徳授業のテーマは「感謝」。自分の生活が多くの人々に支えられていることに感謝し、相手を思いやり行動する意欲を高めることが目標だ。

冒頭、担任の湯本佐智恵教諭(42)が、交通指導員や読み聞かせボランティアなどの写真を見せると、子供たちは、その人たちの名前を次々に挙げていった。自分たちの生活の様々な場面で地域の人が関わっていることに気付かせるのがねらいだ。

その後、湯本教諭は教科書で「おじいさんのあたたかな目」を朗読。「僕」は、近所のおじいさんの声かけをうっとうしく思い、無視することもあった。だが、父親から「一人で大きくなったと思っているのか」と指摘され、おじいさんを始め、地域の人々に見守られて成長してきたことを知り、感謝する内容だ。

「おじいさんを無視した僕についてどう思う?」。湯本教諭は、子供たちへの問いかけを通じ、「僕」の行為を自分の経験などに照らし合わせながら客観的に考えるよう促した。

3人グループにわかれ、意見を交わした後の全体発表では、「僕」の行動のとらえ方は様々だった。

「急いでいる時は無視しても仕方ない」「小さな子供扱いされれば嫌な気持ちになる」と共感する子もいれば、「自分のことしか考えてない」「おじいさんは心配して声をかけてくれたのに」と批判的に見る子もいた。

湯本教諭は「主人公の気持ちを考えるだけでなく、主人公に自身を重ねて自分のこととして捉えてほしかった」と語る。

最後に地域の人々との今後の関わりについて意見交換し、「自分から大きな声でいさつしたい」などのアイデアが出ていた。

「自分たちならどうする?」。教材の主人公に自らを重ね合わせる子供たち（2月27日、那須塩原市立埼玉小で）

◇

道徳は、11年に大津市で起きた中学生のいじめ自殺をきっかけに教科化が決まった。新しい道徳教育には、子供が困難な問題に直面した時、自ら対応できる力を育成する役割が期待されている。

教科化前の道徳は、教材の登場人物の心情の読み取りに偏っており、児童自身が内面を見つめることは少なかった。このため、新学習指導要領では、「考え、議論する道徳」への転換を強調。指導要領解説では、道徳科の目標として、「道徳的価値を自分との関わりも含め理解し、自身を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、判断する能力」「道徳的行為を行うための意欲や態度」の育成を掲げた。

◇

道徳の授業は、週1回程度、年34～35コマ（1コマ45分）。内容は、「希望と勇気、努力と強い意志」「国際理解、国際親善」「生命の尊さ」など、学年によって19～22項目あり、体系立てて指導するよう求めている。

国語や算数などと同じく検定教科書を使う。多くは、授業での話し合いを促す質問例を掲載するなど、新しい授業スタイルに慣れていない子供や教員を意識した編集が目立っている。

文部科学省の浅見哲也教科調査官は、教員に対し、「子供たちと共に考え、対話を楽しむ姿勢が大切で、指導方法も型にはめず、柔軟に捉えてほしい」とアドバイス。「教材を学ぶのではなく、教材を使って子供たちが自分自身の体験を重ねて考えたり、多様な考え方に触れたりする時間であってほしい」としている。

Watch out for the aftershocks.

余震に気を付けてください

街で使える英会話

※災害編

イラスト　祝田彩月

A: Watch out for the aftershocks and stay away from damaged buildings. They might collapse. (余震に気を付けてください。そして損傷を受けた建物に近付かないでください。倒壊するかもしれません)

B: Got it. (わかりました)

余震のことをaftershockと言います。Watch out for …は、「～に気を付けて」の意味で相手に危険を知らせる時に使うことができます。

監修　英会話イーオン　宍戸純子

※読売新聞オンラインに音声

小中の休校、相次ぎ延長

新型コロナ 中野区は25日まで

東京都中野区は11日、政府からの要請に基づき2日から実施している区立小中学校の一斉休校の期間の延長を決めた。当初は13日まで休校する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況が予断を許さないため、休校期間を25日まで延ばす。4月以降の対応は23日までの状況を見て判断する。

都内では、青梅市、日野市も期日は前後するものの同様の措置をとる。13日まで休業としている千葉県野田市も休校の継続を決めた。

神奈川県綾瀬市は16日の午前中のみ登校日とするが、24日まで休業を続ける。同市は「今もって事態が収束する兆しが見えず、子どもたちの健康・安全を第一に考えた」としている。

希望退職募る企業急増

1～2月で昨年の半数超

東京商工リサーチは11日、2020年1～2月に早期・希望退職の募集などを明らかにした上場企業は19社で計347人だったと発表した。企業数は前年同期（9社）の約2倍に増え、既に19年通年（延べ36社）の約半分に達した。19社のうち「黒字リストラ」は約7割を占めた。一方、新型コロナウイルスで業績の下方修正も相次ぎ、今後は業績不振型のリストラと二分化しそうだ。

黒字リストラ 7割

業界別で見ると、小売りと食品飲料がそれぞれ3社で最も多かった。店舗網の見直しを図るファミリーマートやラオックスが実施。ファミマは約800人を募集したところ1111人が応募し、全社員の約15%に相当する1025人が3月末で退職する。

東京商工リサーチの分析では、19社のうち直近の本決算の最終損益が黒字だった企業は約7割の13社で、赤字は6社だった。経営体力のあるうちに人員構成を見直す動きが相次いだ。

住宅ローン審査 AIで最短1分

みずほ銀

みずほ銀行は11日、最短1分で住宅ローンの事前審査ができるサービスを23日から始めると発表した。ネット申込商品の手続きに人工知能（AI）を導入し、審査を自動化する。従来は人の手を介していたため、数日かかることもあった。

利用者はスマートフォンなどで本審査の通過確率を確認できる。最短1分は銀行業界で最速という。

ガソリン 5ヵ月ぶり安値

店頭146.4円 原油急落で一段安も

ガソリン価格が5カ月ぶりの安値に下落した。先週までの原油安を背景に7週連続で値下がりした。今週は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う需要減観測に産油国の減産協議決裂が重なり、原油相場が約4年ぶりの安値まで急落。仕入れ価格の低下を見込み、値下げに動く給油所も出始めた。石油元売り会社の卸値も下がっており、来週以降値下がりが加速しそうだ。

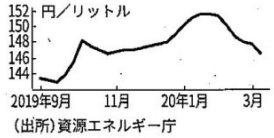
資源エネルギー庁が11日に発表した9日時点のレギュラーガソリンの店頭価格（全国平均）は1リットル146・4円と前週比1・2円下落した。石油元売り会社が先週に卸値を4円下げたことが主因だ。46都道府県で下落し、1週間で4円以上安くなった地域もあった。

都内の給油所経営者は「原油価格が急落した。来週以降の仕入れ値の下落を見込んで店頭価格を見直す」と話す。ガソリン価格は来週以降、一段と下落する公算大だ。

原油を巡っては、新型コロナの影響で今年の世界の石油需要は11年ぶりに減る見通し。石油輸出国機構（OPEC）とロシアなど非加盟の産油国は協調減産の協議も決裂し、指標となる中東産ドバイ原油価格は約4年ぶりの水準まで急落した。有事の円買いも重なり、単純計算で元売り会社の原油調達コストは1リットル10円超減った格好だ。

元売り会社は今週、卸値を同4・5円引き下げると給油所に通知した。「下げ幅があまりに大きく、卸値下げを2週以上に分けるのでは」（特約店）との声もある。卸値が店頭価格に表れるのには1～2週間かかる。調査を担う石油情報センターは「来週も値下がりする」とみている。

7週連続で値下がりした



（出所）資源エネルギー庁